

大同メタル工業株式会社に対する「Mizuho Eco Finance」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、大同メタル工業株式会社（代表取締役会長兼CEO：判治 誠吾、以下「大同メタル工業」）に対して、「Mizuho Eco Finance」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

本商品は、国内外で信頼性の高い環境認定や指標等を組み入れた環境評価モデルを用いて、みずほ銀行がお客さまの取り組みを評価し、一定のスコアを満たしたお客さまに対して融資を行うサステナブルファイナンス商品です。

みずほ銀行は、継続的なモニタリングとエンゲージメント（建設的な対話）を通じて、お客さまの脱炭素社会への移行に向けた取り組みの促進を支援します。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に適合する旨の第三者意見書を取得しています。（※2）

大同メタル工業は、サステナビリティ基本戦略にて「事業課題を通じた社会課題の解決による持続可能な社会と会社の実現」を掲げ、中期経営計画「Bridge to Daido2030」に沿って、ESGの強化を柱としたサステナビリティ経営の戦略的推進を図っています。気候変動への対応をマテリアリティとして特定し、風力発電機用軸受事業などの新規ビジネスの確立や省エネ対応・再生可能エネルギーの活用・イノベーションの推進等を通じた、社会的課題の解決・競争優位性の構築を目指しています。

みずほ銀行は、大同メタル工業が2050年カーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガス排出削減目標を設定し削減を進めていること、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を適切に算定していること等、評価モデルに使用している指標において高い水準で満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は、ありたき将来の日本の産業構造“グランドデザイン”を描き、その実現に向けてお客さまの脱炭素化・トランジションを積極的に支援しています。〈みずほ〉の強みである「産業・業界知見」や「つなぐ力」を活かしたグループ一体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに挑戦します。

※1：「Mizuho Eco Finance」の商品概要にかかるウェブサイト

<https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/mef/index.html>

※2：株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上